

# 御 挨拶

部 長

本日は、私達山梨大学合唱団の定期演奏会に、御来場下さいまして、誠に有り難うございます。定期演奏会も、今年で41回目を迎えることになりましたが、これも皆様の御理解と御支援の賜物と、団員一同心より感謝しております。

私達は、日頃から、ハーモニーの流れや言葉の美しさを大切に、歌っております。しかし、全員の声がひとつに解け合った、純粋な響きや、歌詩に込められた感情の表現、といったものは、簡単に得られるものではありません。そこで、よく「聴く」ということが、重要になってくるわけです。現在は、指揮者・佐々木基之先生の指導のもと、分離唱という練習方法を用いて、お互いに「聴き合って」歌うことに、重点を置いております。

そして、それらと同時に、歌の気持ちを理解し、自らの感情を込めて、それを表現することができたらと願っております。

それでは、本日も皆様と共に、美しいハーモニーの世界へ出発したいと存じます。

どうぞ、最後までごゆっくりお聴きください。

# 御 挨拶

山梨大学合唱団顧問

山梨大学合唱団定期演奏会も今年で第41回を数えることになりました。毎年聴きに来て下さる方、今年初めて聴きに来て下さった方、今夕の聴衆の方々の中には、いろいろな方がおられる事と思います。私がこの合唱団の顧問を引き受けるようになってからでも十年の歳月が流れました。佐々木先生の御指導を仰ぐようになってから十余年もたちました。早いものです。その間、学生の気質も変わり、合唱団の持味も少しづつ変化しているといわれます。残念なことに、ここ数年は合唱団の演奏会を聴く機会がありませんでした。今夕は、新たに演奏を聴く気持で、山梨大学合唱団がどのように変わり、どのような目標を持って進んでいるのかを、皆様と一緒にじっくりと聴かせてもらうつもりです。流されやすい昨今の世の中の風潮にあって、団員の一人一人がどのような自覚を持ち、何を目標に合唱をするのか、私自身を含めて問い直す時機であるように思います。時折耳にする合唱団に対する批判にどのように応えるのかも、演奏を通じて解答を見ることが出来れば幸いです。

今夜は、そのような期待をこめて、久しぶりに合唱を楽しませて頂くつもりです。